

令和5年度 産業経済部長「政策宣言」中間報告

産業経済部長 塩谷 明永

○ 令和5年度重要事業

事業名	中小企業等への支援の実施
目標	原油価格・物価高騰により、多大な影響を受けている中小企業や個人事業者及び市民の方に対し、的確な支援を実施することにより、地域経済の活性化を図ります。
進捗状況	市民生活及び市内中小事業者等の経営を支援するため、市商工協議会と連携し「いみずまるごとデジタル応援券」の事業を実施することとし、6月補正予算に計上するとともに、10月下旬からの利用開始に向けて準備を整えました。
今後の対応	社会経済情勢等を的確に捉え、引き続き中小企業や個人事業者への支援に努めます。

事業名	観光の振興と移住定住の促進
目標	道の駅周辺エリアへ宿泊施設を誘致するほか、多様な観光資源を磨き上げ「稼げる観光」の実現に取り組みます。併せて、本市での暮らしの魅力発信や移住体験機会の提供を行うなど、移住希望者に選ばれるまちを目指します。
進捗状況	道の駅周辺エリアについては、公募型プロポーザルにより宿泊施設を整備する事業者を選定したほか、道の駅新湊等のリニューアルに向け準備を進めました。また、国の補助金の採択を受け、観光協会と連携し稼げる観光につながる魅力的な観光コンテンツの造成に着手しました。 移住や空き家に関する様々な相談、情報発信等に関するワンストップ窓口の設置を含む（仮称）移住・空き家トータルサポート業務の実施に向けた準備に着手しました。
今後の対応	令和7年度中のホテル開業に向け、ホテル事業者と協議を重ねるとともに、公民連携手法による道の駅新湊等のリニューアルに引き続き取り組みます。 （仮称）移住・空き家トータルサポート業務の実施に向け、事業公募のための準備を進めます。

事業名	農林水産業の推進
目標	<p>地域農業の将来ビジョンとなる「地域計画」策定についての取組や、アグリテックバレー構想に基づく農業の成長産業化実現に向けた取組を推進するとともに、水産業における資源管理型漁業の支援を行う等、いみずのブランド力向上と持続可能な農林水産業の推進に努めます。</p>
進捗状況	<p>農業では、地域計画を策定するために必須となる協議の場の設置に向け、構成や運営体制を整えるなど、協議に入る準備を進めました。また、アグリテックバレー構想に基づき、食香バラやサツマイモの産地化に係る生産技術の研究や市場開拓等の取組について支援しました。</p> <p>水産業では、シロエビを対象魚種とする水産エコラベル漁業認証申請が認証機関に提出され、審査を受けており、今年度中の認証を見込んでいます。</p>
今後の対応	<p>地域計画策定に向け、計画的に地域と協議を進めていくとともに、引き続き、農林水産業が抱える課題解決に努め、経営の安定化など、持続可能な農林水産業を推進します。</p>